



# スマイルズ通信

2021年 冬

スランガニ 教育里親事業  
198/15 Siriwimal Garden, Nawala Road,  
Nawala, SRI LANKA



## ありがとう文具セット

### 新学期を迎えた子どもたち

昨年は、コロナ感染症の拡大で、休校が続き、子どもたちの学びも遅れた一年でした。そして迎えた1月の新学期。ほとんど学校に行けなかったけれど、みな進級しました。勉強が難しくなると不安を抱えた子ども。日雇い仕事を無くし困窮している親。それぞれの不安を解消した文具品セットの配布。これがあれば怖いものなしです。その重さをしっかり受けた子どもたちと親。マスクの下には大きな笑顔と安堵の顔が見えました。ありがとうございました。

### 質のよいものを贈る

スランガニはこう考えます。心を込めて丁寧に、質の良い物を用意し渡すことは、受け取る側が尊重され、自尊心を高める助けになり、生活の質の向上が期待できる支援だと。新学期に向けての新しい靴、新しい鞆は、信頼できる会社から購入しています。文具品は特別注文のジッパー付き透明バックにいれています。これを受け取り、目を丸くして喜ぶ側、その姿をみて、贈った側も喜ぶ、双方が等しく嬉しい気持ちになる。それが贈り物の真意だと考えます。

### 新学期文具セットの中身は

教科用ノート10~14冊 / スクラップブック / 自由画帳 / 鉛筆 / 消しゴム / ポールペン3色 / 色鉛筆 / クレヨン / カラーペン / 分度器セット / のり / 消しゴム / ハサミ / 鉛筆削り / 名前シール / 時間割 / 透明ファイルバック /







## ありがとうの手紙

2020年の年末、スマイルズの子ども達に鞆と文具品セットを送って下さったこと、心から感謝申し上げます。スランガニスタッフの方々が協力し、とても丁寧に細やかにプレゼントを用意して下さいました。毎年年末になると、スマイルズの子ども達全員にこのような素敵なプレゼントを届けてくださいます。通学用の鞆や靴、文具品セットはとても役に立ち、価値があるものです。また、今年はコロナウィルスの影響で生活が窮地に立たされた際、スマイルズの子どもの全家庭に、緊急支援物資として食料品の入ったバッグも送って下さいました。とてもありがたく、価値があるものでした。どうもありがとうございました。コロナウィルスの影響で多くの人が職を失い、苦しい状況である時、食料のご寄付はとても助かりました。（サンジュの母）

僕と妹に嬉しいことがありました。それは、新年度用の文具品セットと鞆を頂いたからです。頂いたものを使って、よく勉強します。僕たちのような貧しい子ども達をご支援して下さい、どうもありがとうございます。皆さんに感謝します。もう少しで長期休みが終わります。新年が明けて、学校に通えることを楽しみにしています。どんなに問題があっても、皆さんが助けて下さるので、しっかり勉強することができます。皆さんが健康で幸せに、楽しく過ごせますようにとお祈りしています。（カウィーシ）

スランガニから、子どもたちのことを想う優しく親切な気持ちがこもったプレゼントが送られてきました。新年度の学校で使う文具品セットはとても役に立つものです。このプレゼントの為に寄付して下さいた日本とスリランカ、オーストラリアの方々に感謝申し上げます。（ナオーディの母）

4年生になる9歳の娘は、こんなにたくさんの文具を一度に手にしたことに、喜びました。親として、こんな嬉しそうな顔はいままで、一度も見た事がありませんでした。いつも、ノート1冊、鉛筆1本など、必要なときに、買い与えていたのです。いただいた日から、毎朝、バックを抱えて、にこにこしています。学校にいったら友達にも自慢できると。皆様の思いのこもった贈り物、大切にに使わせていただきます。母親にも喜びをくださった皆さまに、仏陀のご加護がありますように。ありがとうございます。（ドゥラクシの母）



“

“こんなにたくさんのノートや色鉛筆、文具用品と鞆を持って学校にいける私は、貧乏なんかじゃない。クラスで一番幸せで豊かな生徒です”







## 緊急支援のフードバック

緊急食料をスマイルズの家庭へ配布しました。

スマイルズの子どもの家庭の多くは、日雇い仕事で得るお金で生活をしています。近隣の家庭の手伝いや子守り、お店の手伝い、学校の送迎アシスタント、工事現場での仕事などです。これらがすべて閉鎖、休校、中断になってしまい、食べるものにも困る家庭が続出しました。貯蓄率の低いスリランカ。食べるものも買うことができず、1日1食という声を聞き、少しでも力になることはできないかと、話し合い食料支援を決めました。

- ミルクパウダーは少し高いものですが、子どもたちは大好き。バックにはビスケットと一緒にあり、飲んだミルクはとても美味しいものでした。
- ヌードルを一番はじめに食べました。こんなにたくさんの食料を用意してくれていたとは思いませんでした。受け取りにいて、驚きました。
- こんなに重いバッグははじめて受け取りました。家にもどり、お米や豆、卵もあり、とても美味しく、嬉しく食べました。ありがとうございます。
- 僕たちの家族のことまで、考えてくれて食料バックを送ってくれたみなさま、一人一人にありがとうございます。
- ロックダウンで外に出られず、食べるものがなくなり心細くしていた時にこんなにたくさんの食べ物をいただき、スランガニのみなさまに感謝します。

COVID 19 は仕事も奪いました。  
生活困窮家庭への食糧支援

コロナ感染症はスリランカ全土に広がっています。自粛のため日雇い仕事を失くし、人々は食べるものにも困っていた時期。スランガニはいち早く、地区の先生たちと協同し、食料バックの配布を実施しました。



地区の先生たちは、食料品を購入し、配布してくれました。領収書は事務所に郵送で届きましたが、携帯電話の写真で多くの先生たちが明細を知らせてくれました。通わせる気持ちが嬉しいプログラムは大成功でした。

Code	House No	Area	Qty	Unit Price	Amount
PRD010	12	200.00	2,000.00		
SIL008	8.5	420.00	2,730.00		
KIRI PTT	15	300.00	4,500.00		
SIL006	20	30.00	1,200.00		
SIL006	05	25.00	1,250.00		
SIL006	13	40.00	520.00		
RIS007	15	110.00	1,650.00		
SIRI	13	100.00	1,200.00		
HA	04	01.00	5,040.00		
SIL006	12	10.00	130.00		
SIL006	10	55.00	1,040.00		
Subtotal					25,405.00
Total					258.5
TOTAL					25,405.00
Cash					25,405.00
10-11-2020 12:50					45,580

"仕事ができなくなり、食べるものを買うことができずに途方にふていたとき届いたフードバック。子どもたちが嬉しそうに食べている姿を見て、涙がこぼれました。"



## \*里親さん募集中です\*



アンパーラ地区の今年2年生になる子どもたちです。ご支援ご希望の方は、どうぞメールにてご連絡ください。スリランカの子どもとの繋がりが、皆様の生活にも笑顔をお届けすることができると思います。子どもたちとのやりとりを通して、スリランカの様子を知ることでもあります。どうぞよろしくお願いいたします。



シトゥミニ 6才



サディウ 6才



チャトゥミ 6才



ディヌディ 6才

募金に協力して下さった皆様へ心よりお礼を申し上げます。



年末特別募金へ、昨年も多くの里親の方からご支援をいただきました。おかげさまで、すべてのスマイルズの子どもに、新年度、文具セットとカバンを用意することができました。ありがとうございます。世界中経済活動が停滞して、生活が困難な状況の時にお願いしたにもかかわらず、子どもたちの学びを考えてくださり、ご支援にいただきましたこと、深くお礼申し上げます。スタッフ一同も、皆様に支えられて、スマイルズの活動ができることを誇りに思い、感謝しております。ありがとうございます。

### <ありがとうございました。2020/10/6から2021/01/25まで>

田中豊穂/米川美輪/パティラナみゆき/佐藤真紀子/三井圭子/新ヶ江一男/風間聖二・みはる/湯山清美/多田佳子/岡本峰/花岡美智子/井村香代子/栢森公子/児童夢基金/大嶋直子/宇田川典子/和田由美/村上あゆみ/山本紀子/高橋佐登美/石原由美/永井利枝/高志あい子/萩倉益美/税所卓也/米川美輪/山段晴揮/久保田美幸/佐藤美穂/田中義子/佐々木秀子/神代幸子/遠藤美千/土井亜由美/佐々木えい子/高橋知里/高倉まり子/栢森公子/湯山清美/新ヶ江一男/松浦由紀子/パティラナみゆき  
(敬称は略させていただきました)

### <ご支援金送付先>

三井住友銀行 町田山崎出張所  
口座番号: 普通 361585  
口座名: スランガニ基金  
代表者 ババシゲコ  
ゆうちょ銀行  
店番: 008  
口座番号: 普通 4893301  
口座名: スランガニ基金



### <編集後記>

心温まるお話。リトル・トゥリーに通う12歳の女の子。言葉が少なく、体がすこし不自由です。バランスと取りながら歩き、踊りや音楽も大好きな子。くりっとした目が可愛い彼女は村でも人気者。この子の体調が思わしくなく、検査のために遠方の病院に行く必要がありました。でもお金がない。そこで村の若者たちが車代を用意してくれたのです。なんて心優しい人たち。子どもを助けたいと、お金集めに村を回ったそうです。おかげで大きな病院まで連れていくことができました。障がいの子どものいる家庭は、比較的親戚付き合いが疎遠であるなか、こんなに優しい温かい助けをしてくれる村人。「遠くの親戚より近くの他人」です。いつも穏やかで、優しい母親の態度も皆に好かれる所以です。この子の手術が今週末執刀されます。きっと大丈夫です。スマイルズの「病院へ行く」基金で今後の薬代など支援していこうと、話し合っています。人を思いやる尊い気持ちを集めて、みなで社会を作って行きたいものです。みなさまもどうぞ健康第一にお過ごしください。いつもありがとうございます。

2021/01/28 馬場繁子

